

大学等名	グローバルBiz専門職大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	Globiz データサイエンス・AI (DIAL) プログラム	申請年度	令和 7年度

取組概要

プログラムの目的

データ・AI活用技術を習得し、本学が目指す人材育成の核となるグローバルビジネス対応能力の基礎力向上を図る。

身につける能力

DIALプログラムでは、デジタル時代の「読み・書き・そろばん」と言えるデータ・AI活用技術を身につけ、これを活用することができるようにする。具体的には下記：

- ・「データを正しく読む力」や「データを正確に伝える力」を身に付ける。
データ解析（予測、モデル化・シミュレーション等）技術を修得する。
- ・データやAIが社会でどのように活用され、新たな価値を生むかを知る。
- ・データやAI利活用には公平性・公正性・プライバシー保護などに課題があることを理解し、利活用に際し倫理的、法的、社会的に適切な判断ができるようになる。

開講されるプログラム授業科目構成

	単位数	必修	①		②		③		④		⑤		
			1-1	1-6	1-2	1-3	1-4	1-5	3-1	3-2	2-1	2-2	2-3
スタディスキルズ	1	○	○	○		○			○				
IT概論	2	○								○			
ICT演習	2			○	○		○	○			○	○	○

1-1:社会で起きている変化；1-2:社会で活用されているデータ；1-3:データ・AIの活用領域；
1-4:データ・AI利活用技術；1-5:データ・AI利活用の現場；1-6:データ・AI利活用の最新動向；2-1:データを読む；
2-2:データを説明する；2-3:データを扱う；3-1:データ・AI利活用の留意事項；3-2:データを守りうえでの留意事項

教育方法の工夫

<授業上の工夫>

- ・実務家教員を中心とする体制で、ビジネス現場で活用される技術を実習で修得する。
- ・生成AIの基礎的な理解と利活用技術（Prompt Engineering）学習の取り込む。
- ・高校「情報」「探求」教育内容との連携する。

<産学連携の強化>

- ・企業・団体との連携によりビジネス現場の視点を授業に取り入れる。

実施体制

データサイエンス・AI
(DIAL)プログラム
運用WG

プログラム実施計画の策定・運用
ICT関連スキルの向上、
履修・修得改善策、
情報の外部への公開、
外部情報の活用、等

科目担当者会議

教材開発、実施